

夏は暑いものだが、今年は特に暑い気がする。昭和生まれの私にとって、夏日（最高気温 25℃以上の日）は夏の始まり、真夏日（最高気温 30℃以上）は夏本番というイメージだったが、2026 年の東京都心最初の夏日は 4 月 11 日、最初の真夏日も 4 月 11 日（静岡市駿河区）であった。桜が終わるとそのまま夏が到来した。関東で最初の猛暑日（最高気温 35℃以上）は 6 月 1 日（群馬県桐生市など）であった。その後、早い時期に大型の台風が来て、梅雨に入り、少し涼しかったが、梅雨明けとともに急激に暑くなってきた。

地球温暖化で 35℃を越す日が増えてきたため、2007 年に最高気温が 35℃以上の日を猛暑日とすることになり、さらに最高気温 40℃以上が頻繁に観測されるようになって、2026 年 4 月 17 日に気象庁によって酷暑日が定められたそうである。最初の酷暑日は 2026 年 7 月 21 日（岐阜県郡上市八幡、多治見市など）であったが、その後各地で酷暑日が報告され、連日熱中症を警戒するメッセージが流されている。

筆者の勤務先は神奈川県川崎市内に分院があり、月に 1 回火曜日の午後に診療を担当している。本院のある東京メトロ銀座線の虎ノ門駅から東急田園都市線の宮崎台駅まで 40 分ほど電車に乗って、駅から徒歩 15 分程度坂道をのぼったところに分院はある。冬は雪でも降らない限り問題ないが、夏の暑い時期は病院に到着するまでの坂道歩きで汗まみれになるので、タオルを持参する。クーラーの効いている病院内に入るとほっとする。診察室で、院内は涼しくてほっとするとおっしゃる患者さんもいらした。夕刻に病院を出ると、まだ熱気がこもっていて暑い。ご高齢の患者さんが真夏の通院を避けたいという気持ちがよくわかる。

皮膚科の夏といえば、感染症である。今年は手足口病が流行している。これから、膿痂疹や虫刺症、日光皮膚炎、汗疱などの夏に悪化する疾患が増えるであろう。熱帯夜で寝苦しい夜が続くと、痒くて眠れないという患者も増えてくる。最近は予約制、紹介状必須などと病院の敷居が高くなっていることもあり、病院ではそれほど大きな患者数の季節的な変化はないが、御開業の先生方はお忙しいことと思う。熱中症で運ばれる人の話がニュースに上がっているが、過労にならないように、くれぐれもご自身のお体にご気を付けてお過ごしいただきたい。

（林 伸和）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男 相馬 良直

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 林 伸和 佐伯 秀久 菅谷 誠

「皮膚科の臨床」第 68 巻 第 9 号 8 月号

2026 年 8 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）

定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 51,480 円（本体 46,800 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 前田 達也

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811)7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811)7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813)0288

ホームページ [www.kanehara-shuppan.co.jp](http://www.kanehara-shuppan.co.jp)

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・教育機関、医療機関、企業などにおいて本誌を無断で複製すること（コピー、スキャン、デジタルデータ化など）は「私的使用」など著作権法上の限られた例外にはあらず、違法となります。また、限られた例外に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して複製を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞  
本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- ・本誌を AI（人工知能）分野に関する用途で許諾を得ずに利用する行為は、当社の利益を不当に侵害する可能性があります。必ず事前に当社までお問い合わせください。